

金属本部

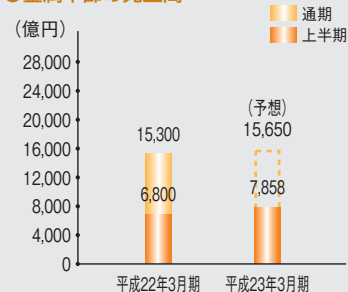


鉄鋼分野では、インド唯一の自動車・二輪車向けステンレス鋼管メーカーへ出資し、インド市場での基盤確立に取り組みました。

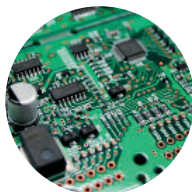
非鉄金属分野では、引き続きレアメタルを中心とした資源開発に注力しました。

売上高については、国内外の自動車メーカー向け取り扱いが堅調に推移したこと等により、前年同期を1,058億円(15.6%)上回る7,858億円となりました。

●金属本部の売上高



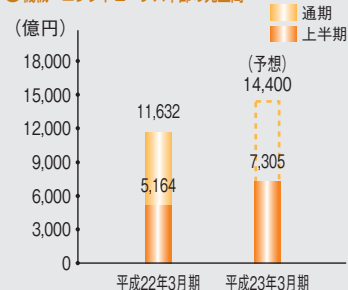
機械・エレクトロニクス本部



機械分野では、営業力と技術力の強化のため販売系の株式会社豊通マシナリーと製造系の株式会社豊通テクノに関係会社を再編しました。

売上高については、半導体等の販売増および海外自動車生産用部品の取り扱い伸長により、前年同期を2,141億円(41.5%)上回る7,305億円となりました。

●機械・エレクトロニクス本部の売上高



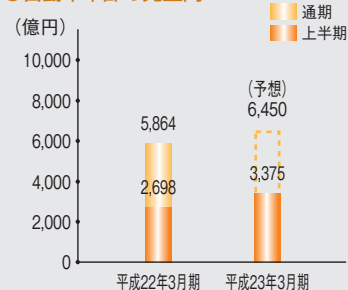
自動車本部



世界の販売拠点の顧客対応・サービスなどの販売力強化や、経営の効率化に取り組みました。また、中国、アジア、アフリカ等新興国において販売店の拡充に努めました。

売上高については、ロシアなどの車両販売が伸長したことにより、前年同期を677億円(25.1%)上回る3,375億円となりました。

●自動車本部の売上高



エネルギー・化学品本部

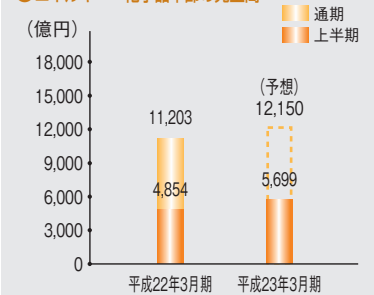


資源エネルギー・プラント分野では、卸電力事業（IPP）や再生可能エネルギー事業を拡大させるため電力事業部を新設しました。

化学品・合成樹脂分野では、チリのヨード開発・生産会社へ出資、新規ソースを獲得したほか、スウェーデンベンチャー企業との提携による新薬開発支援事業への参入、ナノテク光学材料の国内ベンチャー企業への増資などを行いました。

売上高については、電力案件や樹脂等の取り扱い伸長により、前年同期を845億円（17.4%）上回る5,699億円となりました。

●エネルギー・化学品本部の売上高



食料本部

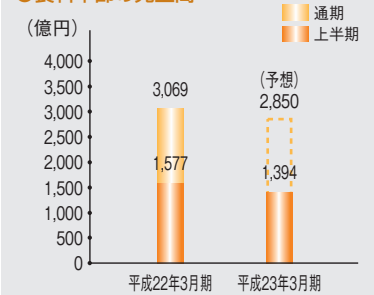


穀物分野では、タイ大手精糖メーカーとの業務提携契約を締結しました。

食品分野では、クロマグロ完全養殖事業において近畿大学と技術協力提携契約を締結し、株式会社ツナドリーム五島を設立しました。

売上高については、飼料等の取り扱い減少により、前年同期を183億円（11.6%）下回る1,394億円となりました。

●食料本部の売上高



生活産業・資材本部



自動車資材分野では、輸送機器用内装材事業のTBカワシマ株式会社が7月より本格的に稼動しました。

保険分野では、三井住友海上火災保険株式会社の現地法人であるMSIGマレーシアへ追加出資しました。

繊維製品分野では、小売・ブランド事業への事業領域の拡大のため、イタリアの国際競泳ブランド「Jaked」の日本市場での独占輸入販売契約を締結しました。

売上高については、自動車関連資材および繊維製品等の取り扱い伸長により、前年同期を366億円（28.5%）上回る1,652億円となりました。

●生活産業・資材本部の売上高

